

The main paycloud logo, with a stylized 'pc' monogram in grey and black, followed by the word 'paycloud' in a bold, black, sans-serif font.

2024年8月期第2四半期 決算説明資料

ペイクラウドホールディングス株式会社
東証グロース：4015

2024年4月12日

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 経営統合完了と体制
3. 決算ハイライト
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

1. 連結業績及びビジネス概況

2. 経営統合完了と体制

3. 決算ハイライト

4. 事業別業績・指標

5. 事業の取組み状況

6. Appendix

2024年8月期2Q 業績概況および最新情報

1. 調整後EBITDAは226百万円で前年同期比+34.7%^(注1)。営業利益は86百万円で前年同期比+445.9%^(注1)を計上。売上高は19億円で順調に推移。
2. 純粋持株会社体制への移行が完了。純資産額約41億円の企業グループとなることを想定。共通顧客基盤に対し、各事業会社が機動的にアプローチ。
3. クラウドポイント社^(注2)との経営統合が完了。旺盛な需要を背景に想定以上の上期進捗。連結が始まる下期も好調維持を想定。
4. インド政府が主導するONDC^(注3)を介したギフトカード販売を開始。バリューデザインで扱うブランドのギフトカード販売先（Eコマース事業者）が47,000社以上に拡大。

(注) 1. 変則決算除く。旧アララの2022年9月～2023年2月（6か月分）及びバリューデザインの2022年9月～2023年2月（6か月分）を集計した場合の実績。

(注) 2. 株式会社クラウドポイント。

(注) 3. Open Network for Digital Commerce。オープンソースを前提としたインド国内統合型 E コマースネットワーク

2024年8月期2Q 連結業績概況

売上高／前年同期比

1,990百万円 / (注) 対 変則決算除く：+ 109百万円
対 変則決算：▲264百万円

- 前年は、旧アララの2022年9月～2023年2月及びバリューデザインの2022年7月～2023年2月（8か月分）を連結した変則決算。
- 変則決算を除いた前期実績（バリューデザイン2022年7月・8月分を除く）と比較すると、決済手数料及び新規導入による初期売上増加により、前年同期比109百万円増加。

調整後EBITDA／前年同期比

226百万円 / (注) 対 変則決算除く：+ 58百万円
対 変則決算：+ 5百万円

- 売上高の伸長、外注費等の削減効果などにより226百万円の着地。
- 変則決算を除いた前年同期比で+34.7%増加。

※2024年8月期より「株式報酬費用」をEBITDAに含めて算出
※営業利益、減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）、株式報酬費用の合計

売上高達成率／調整後EBITDA達成率

売上高達成率 28.8% / 調整後EBITDA達成率 34.9%

- 2024年8月期の業績予想は、売上高6,900百万円、調整後EBITDA650百万円。
- 調整後EBITDAは2Qの想定を上回る進捗率。
- 通期予想に対する達成率の詳細は、クラウドポイント社との統合の影響があるため次ページ要参照。

(注) 変則決算除く：旧アララの2022年9月～2023年2月（6か月分）及びバリューデザインの2022年9月～2023年2月（6か月分）を集計した場合の実績
変則決算：旧アララの2022年9月～2023年2月（6か月分）及びバリューデザインの2022年7月～2023年2月（8か月分）を連結した変則決算

2024年8月期 調整後EBITDAの業績予想に対する進捗状況

株式交換によるクラウドポイント社の完全子会社化により、3Qからクラウドポイント社を連結。

売上高の順調な伸び、外注費や業務委託費等の原価・販管費の削減効果等により、2Q累計の調整後EBITDAは予想を上回って着地。

調整後EBITDA (2024年8月期)

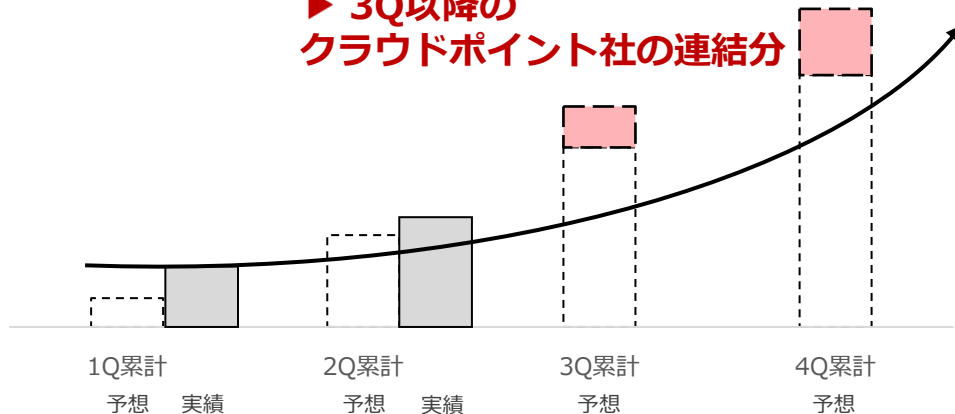


2Qは予想を上回って着地



3Q以降の調整後EBITDA
にはクラウドポイント社
を連結予定

▶ 3Q以降の
クラウドポイント社の連結分



(注) 調整後EBITDAの各四半期のグラフは累計額のイメージを記載

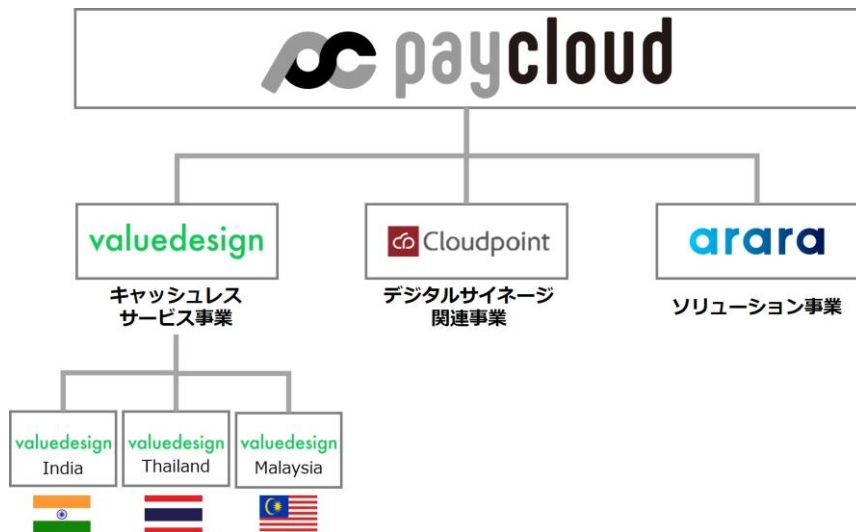
(注) 2024年8月期よりEBITDAの調整項目に株式報酬費用を追加：調整後EBITDA=営業利益+減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)+株式報酬費用

1. 連結業績及びビジネス概況
- 2. 経営統合完了と体制**
3. 決算ハイライト
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

組織体制 ペイクラウドホールディングス

2024年3月1日を効力発生日とする①株式交換によるクラウドポイント社の完全子会社化、②ペイクラウドホールディングスへの商号変更含む定款一部変更（注1）を実施。

純粋持株会社化に伴い、ソリューション事業を吸収分割により完全子会社化（注2）。



会社名	ペイクラウドホールディングス株式会社	
代表者	代表取締役副会長	岩井 陽介
	代表取締役社長	尾上 徹
役員構成	取締役会長	三浦 巖嗣
	代表取締役副会長	岩井 陽介
	代表取締役社長	尾上 徹
	取締役副社長	井上 浩毅
	取締役	林 秀治
	社外取締役	金子 毅
	社外取締役	井上 昌治
	社外取締役	種谷 信邦
	社外取締役	米田 恵美
資本金	1,020百万円（2024年2月末時点）	
筆頭株主	三浦 巖嗣（27,309 個（2,730,903株））	

（注1）2023年11月28日開催の定時株主総会で承認済み。

（注2）ソリューション事業の吸収分割については、取締役会の決議にて承認済み。



valuedesign

Cloudpoint

arara

社名 **株式会社バリューデザイン**

社名 **株式会社クラウドポイント**

社名 **アララ株式会社**

代表者 代表取締役社長 林 秀治

代表者 代表取締役 三浦 巖嗣

代表者 代表取締役社長 門倉 紀明

設立年月日 2006年7月

設立年月日 1990年10月

設立年月日 2023年10月

住所 東京都中央区京橋3-1-1
東京スクエアガーデン14F

住所 東京都渋谷区渋谷2-16-1
Daiwa渋谷宮益坂ビル8F

住所 東京都港区南青山2-24-15
青山タワービル

資本金 100百万円（2023年8月末時点）

資本金 230百万円（2023年8月末時点）

資本金 5百万円（2023年10月末時点）

事業内容 キャッシュレスサービス事業

事業内容 デジタルサイネージ関連事業

事業内容 メッセージングサービス等を含む
ソリューション事業

※株式会社バリューデザイン、株式会社クラウドポイント、アララ株式会社は、ペイクラウドホールディングス株式会社の100%子会社です。

ペイクラウドグループが目指す姿

新たな体制となり、グループ全体で目指すべき姿を設定

日本を代表する
世界で活躍する
企業グループ

 paycloud group

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 経営統合完了と体制
- 3. 決算ハイライト**
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

2024年8月期2Q 業績概要（損益計算書）

連結売上高は変則決算を除いた場合の前年同期比で+109百万円(+5.8%)増加。調整後EBITDAは前年同期比で+58百万円(+34.7%)増加し、変則決算を含む前年同期を超える226百万円を計上。

	2023年8月期 2Q実績 ^{注1}	2023年8月期 2Q実績 ^{注2}	2024年8月期 2Q実績 前年同期比 (対 変則決算除く)	2024年8月期 通期業績予想	主な要因
(単位：百万円)	(変則決算含む)	(変則決算除く)		(連結)	
売上高	2,254	1,881	1,990 +109	6,900	決済手数料売上及び新規導入による初期売上増加
調整後EBITDA ^{注3}	221	168	226 +58	650	
営業利益	25	15	86 +70	200	組織統合による外注費等の費用削減
経常利益	17	7	77 +70	-	
当期純利益	32	22	▲14 ▲37	-	連結子会社における利益計上による法人税等の増加。グループ通算制度の活用を検討中

(注) 1. 旧アララの2022年9月～2023年2月（6か月分）及びバリューデザインの2022年7月～2023年2月（8か月分）を連結した変則決算

(注) 2. 旧アララの2022年9月～2023年2月（6か月分）及びバリューデザインの2022年9月～2023年2月（6か月分）を集計した場合の実績

(注) 3. 2024年8月期よりEBITDAの調整項目に株式報酬費用を追加：調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む） + 株式報酬費用

2024年8月期2Q 業績概要（貸借対照表）

現預金残高は2023年8月末から約4.3億円増加、自己資本比率は49%。株式交換によるクラウドポイント社の譲受価値^(注1) 1,919百万円を加えると、単純合算ベースの統合時の純資産額は約41億円を想定。

(単位：百万円)	2023年8月末（連結）	2024年2月末（連結）	対前期末比（24年2月-23年8月）
流動資産	2,349	2,434	+ 84
現預金	1,490	1,919	+ 428
売掛金	698	411	▲ 287
その他	160	104	▲ 55
固定資産	2,052	1,984	▲ 67
無形固定資産	1,897	1,858	▲ 38
のれん	1,044	985	▲ 59
投資その他 ^(注2)	154	125	▲ 28
総資産	4,401	4,419	+ 17
流動負債	1,134	1,296	+ 162
買掛金	349	128	▲ 220
有利子負債（1年内返済を含む借入金・社債）	312	651	+ 339
その他	473	515	+ 42
固定負債	1,103	938	▲ 165
有利子負債（借入金・社債）	934	780	▲ 154
純資産	2,163	2,184	+ 20
自己資本比率	48%	49%	

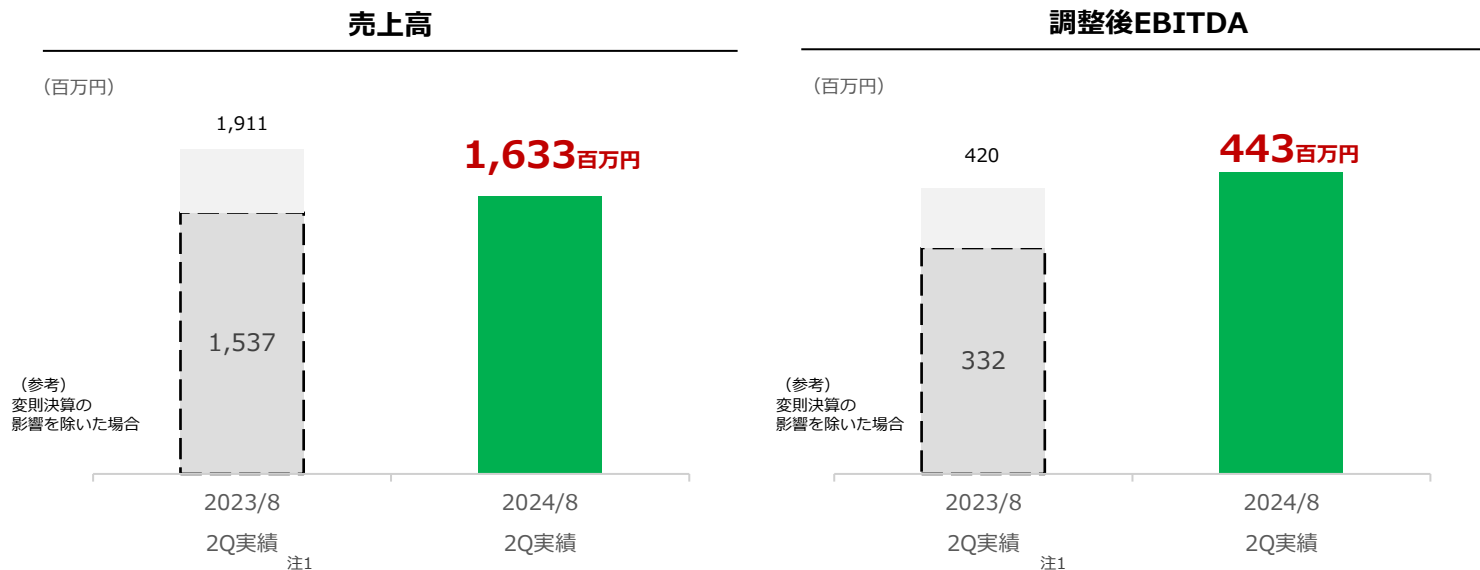
(注) 1.P19「(参考)クラウドポイント社の経営統合の際に発生する「のれん」について」を参照

(注) 2.有形固定資産含む

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 経営統合完了と体制
3. 決算ハイライト
- 4. 事業別業績・指標**
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

2024年8月期2Q キャッシュレスサービス事業の業績

決済手数料の増加、新規導入による初期売上の増加等により、2Qの売上高は変則決算を除いた前年同期比で+95百万円増加し、1,633百万円を計上。調整後EBITDAは変則決算を含む前期2Qを超える443百万円を計上。



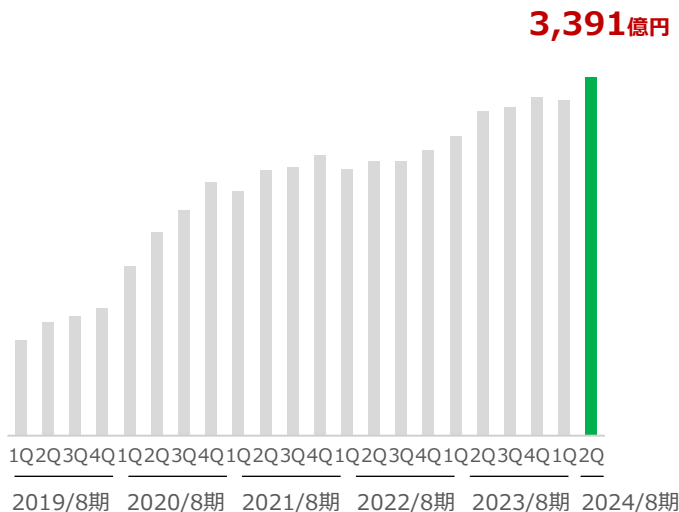
(注) 1. 旧アララの2022年9月～2023年2月（6か月分）及びパブリューデザインの2022年7月～2023年2月（8か月分）を連結した変則決算

2024年8月期2Q キャッシュレスサービス事業の主要KPI

2024年8月期2Qの決済取扱高は3,391億円となり、引き続き堅調に推移。
新規顧客獲得により、累計店舗数・累計エンドユーザー数ともに堅調に拡大している。

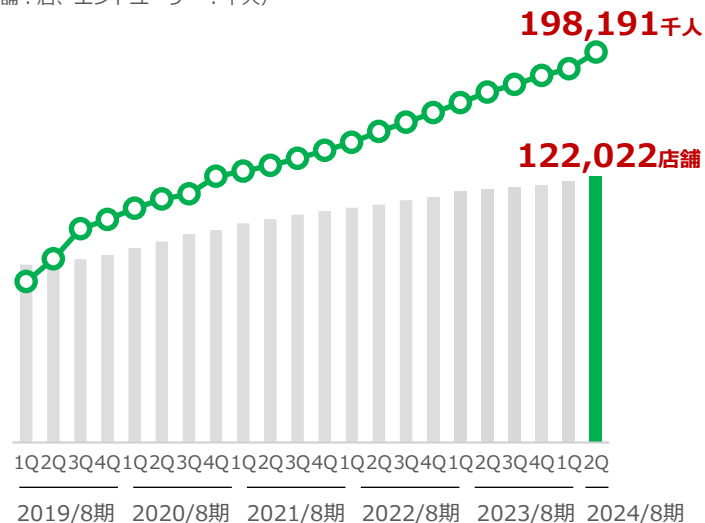
決済取扱高推移

(億円)



累計店舗数・累計エンドユーザー数推移

(店舗：店、エンドユーザー：千人)



(注) 旧アララとバリューデザインのKPIの合算値を記載

(注) リカーリング売上高に直結する取扱高を下記の通りとし、決済取扱高と定義

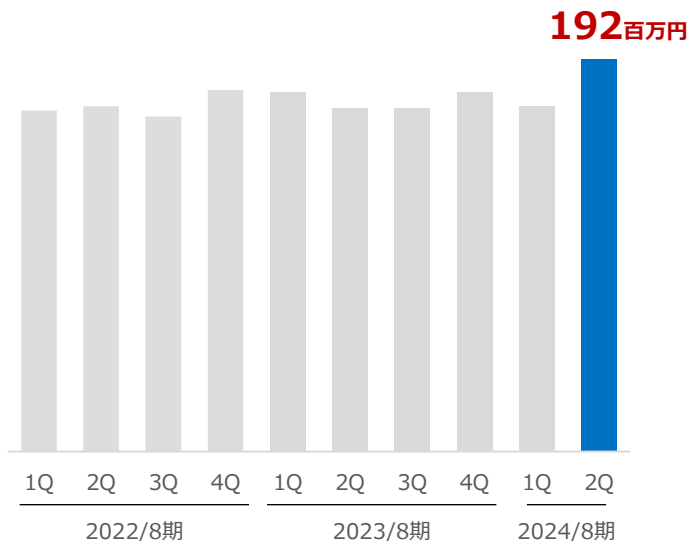
1. 独自Payの決済額 (従前の“決済額”)
2. クレジットカード会社との包括契約を介した独自Payへの入金額 (当期から指標に追加)

2024年8月期2Q ソリューション事業の業績

ソリューション事業の売上高はメッセージングサービスの堅調な伸びとARサービスのスポット売上計上により増収。調整後EBITDAも増収による影響で大幅増。

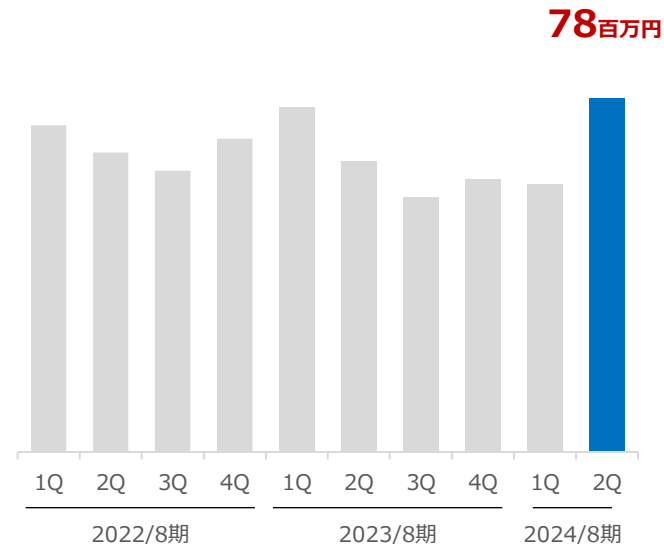
売上高推移

(百万円)



調整後EBITDA推移

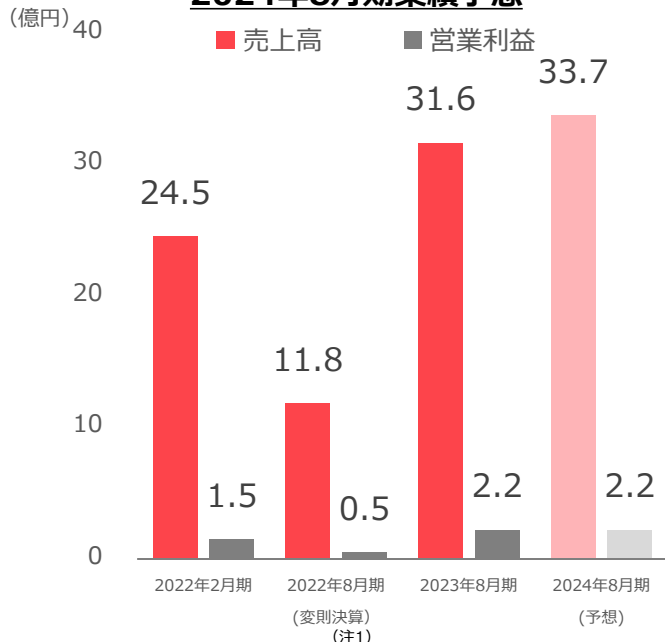
(百万円)



(参考) デジタルサイネージ関連事業の業績

デジタルサイネージ関連事業を手掛けるクラウドポイント社の業績は、2024年8月期の予想に対し、売上高、営業利益ともに順調に進捗。2024年3月（第3四半期）以降、クラウドポイント社の業績を連結予定。

直近3年間の単体経營業績および
2024年8月期業績予想



2024年8月期の予想に対し、
売上高、営業利益ともに順調に進捗

売上高 (上期実績) / 進捗率

18.6 億円 / **55.4** %

営業利益 (上期実績) / 進捗率

1.2 億円 / **56.1** %

(注) 1. 決算期変更により2022年8月期は2022年3月～8月の6か月分になります。

(注) 2. 本グラフは、2023年10月13日開示「株式会社クラウドポイントとの経営統合および純粋持株会社体制への移行について」P3より転載。

(参考) クラウドポイント社の経営統合の際に発生する「のれん」について

2024年3月1日にクラウドポイント社を株式交換により経営統合。当経営統合により発生する「のれん」についての概算は下記の通り。

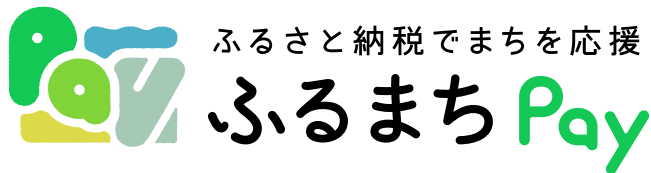
① 本株式交換により交付する株式数	3,755,785株
② 適用する当社株価 (2024年3月1日終値)	511円/株
③ クラウドポイント社の譲受価値 (①×②)	1,919百万円
④ 2024年2月末クラウドポイント社の純資産額	508百万円
⑤ のれん (③-④)	1,411百万円
のれん償却額による2024年8月期業績への影響	▲約70百万円

上記「のれん」は、監査未了数値。当社としては、2024年3月より10年間で償却の場合、年間約1.41億円の償却費用を見込む。今後の監査を通じて最終的なのれん額を確定し、有価証券報告書等にて報告する。

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 経営統合完了と体制
3. 決算ハイライト
4. 事業別業績・指標
- 5. 事業の取組み状況**
6. Appendix

国内：地域活性・自治体支援を目的に「ふるまちPay」の提供を開始

その場で手軽にふるさと納税ができ、すぐに利用可能なデジタルクーポンを返礼品として提供できる「ふるまちPay」を2024年4月に提供開始。「独自Pay」の利用シーンを店舗から拡大し、今後、地域通貨などでの活用も見込む。



自治体様 寄付の機会が増加



経費削減・返礼率の維持！
第三次産業の振興！

加盟店様 客単価・売上UP



決済手数料・クーポン原資負担なし！
端末設置不要、QRコードを置くだけ！

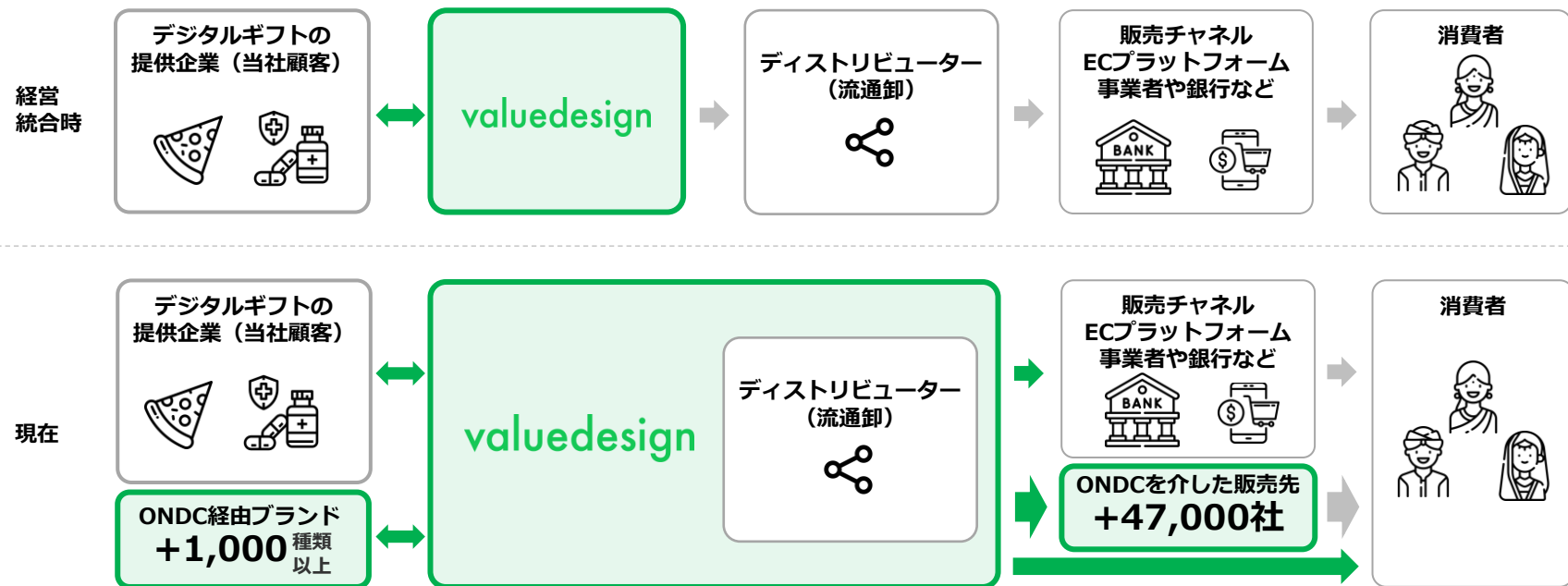
寄付者様 お得を享受



その場で必要な金額だけ！
アプリDLの手間なし！

海外：インド政府が主導するONDC（注）を介したギフトカードの販売を開始

バリューデザイン インドは、ONDCを介したデジタルギフトの販売を開始。これにより、バリューデザインでのみ扱っていたブランドのギフトカード販売先（Eコマース事業者）が47,000社以上に拡大。また、バリューデザインで取り扱うギフトカードは、自社ブランドに加え1,000種類以上に増加。



（注）インド国内におけるEコマースの普及率を高めるため、2021年12月からインド政府が主導し開始したプロジェクト。①販売者としての登録が比較的簡単、②多様な販売者が等しく競い合えるなどの特徴がある。

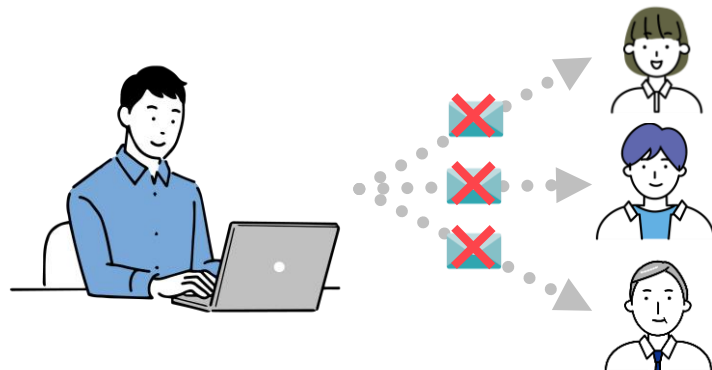
バリューデザインにおいては、自社で取り扱うブランドの販売先を広げ、取扱いブランドを増やすことで売上アップを見込む。

「Gmailにおける迷惑メール対策」の要件を満たすメール配信サービスを提供

Googleは迷惑メール対策の強化のため、Gmail宛でのメール大量送信者(注1)に対し、2024年2月より送信元ドメインの設定・認証、IPアドレスの認証、通信暗号化等の要件を設定。当社子会社のアララでは本要件を満たしたメール配信サービスを提供しており、対応しきれない他社サービスからの切り替え需要を獲得中。

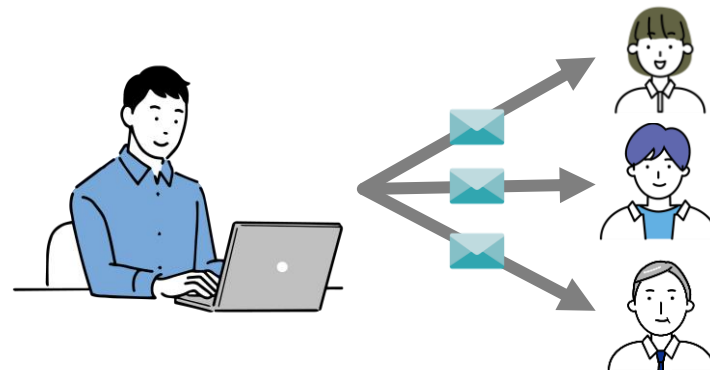
未対策の場合

送信したメールが相手に届かなくなってしまう



対策済の場合

送信したメールが相手に届く



(注) 1. 大量送信者とは、Gmailアドレスに1日に5,000通を超えるメッセージを送信する送信者のこと

(注) 2. <https://blog.google/products/gmail/gmail-security-authentication-spam-protection/>

(参考) クラウドポイントのデジタルサイネージ新規設置状況

2023年12月～2024年2月の3か月間におけるデジタルサイネージの新規設置面数は2,250面、新規設置箇所（住所）数は1,450箇所となり、大手コンビニエンスストア店舗内メニューボード（リテールメディア）、商業施設、カーディーラー、大手ファーストフード店舗内およびドライブスルーなど、各業種でデジタルサイネージの導入が進んだ。さらに、働きやすい空間づくりの一環として、オフィスのリニューアル時にデジタルサイネージを導入するケースも多く見受けられた。

	新規設置数 2023年12月～2024年2月	累計設置数
デジタルサイネージ 設置面数	2,250面	51,150面
デジタルサイネージ 設置箇所数	1,450箇所	22,750箇所



クラウドポイント最新事例紹介ページ
<https://www.cloudpoint.co.jp/case/>

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 経営統合完了と体制
3. 決算ハイライト
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix



会 社 名 ペイクラウドホールディングス株式会社

代 表 者 代表取締役副会長 岩井 陽介
代表取締役社長 尾上 徹

設 立 年 月 日 2006年8月

役 員 構 成 取締役会長 三浦 巖嗣 社外取締役 金子 毅
代表取締役副会長 岩井 陽介 社外取締役 井上 昌治
代表取締役社長 尾上 徹 社外取締役 種谷 信邦
取締役副社長 井上 浩毅 社外取締役 米田 恵美
取締役 林 秀治

本 社 所 在 地 東京都港区南青山二丁目24番15号 青山タワービル

資 本 金 1,020百万円 (2024年2月末時点)



valuedesign

社名	株式会社バリューデザイン
代表者	代表取締役社長 林 秀治
資本金	100百万円 (2023年8月末時点)
事業内容	キャッシュレスサービス事業

Cloudpoint

社名	株式会社クラウドポイント
代表取締役	代表取締役 三浦 巖嗣
資本金	230百万円 (2023年8月末時点)
事業内容	デジタルサイネージ関連事業

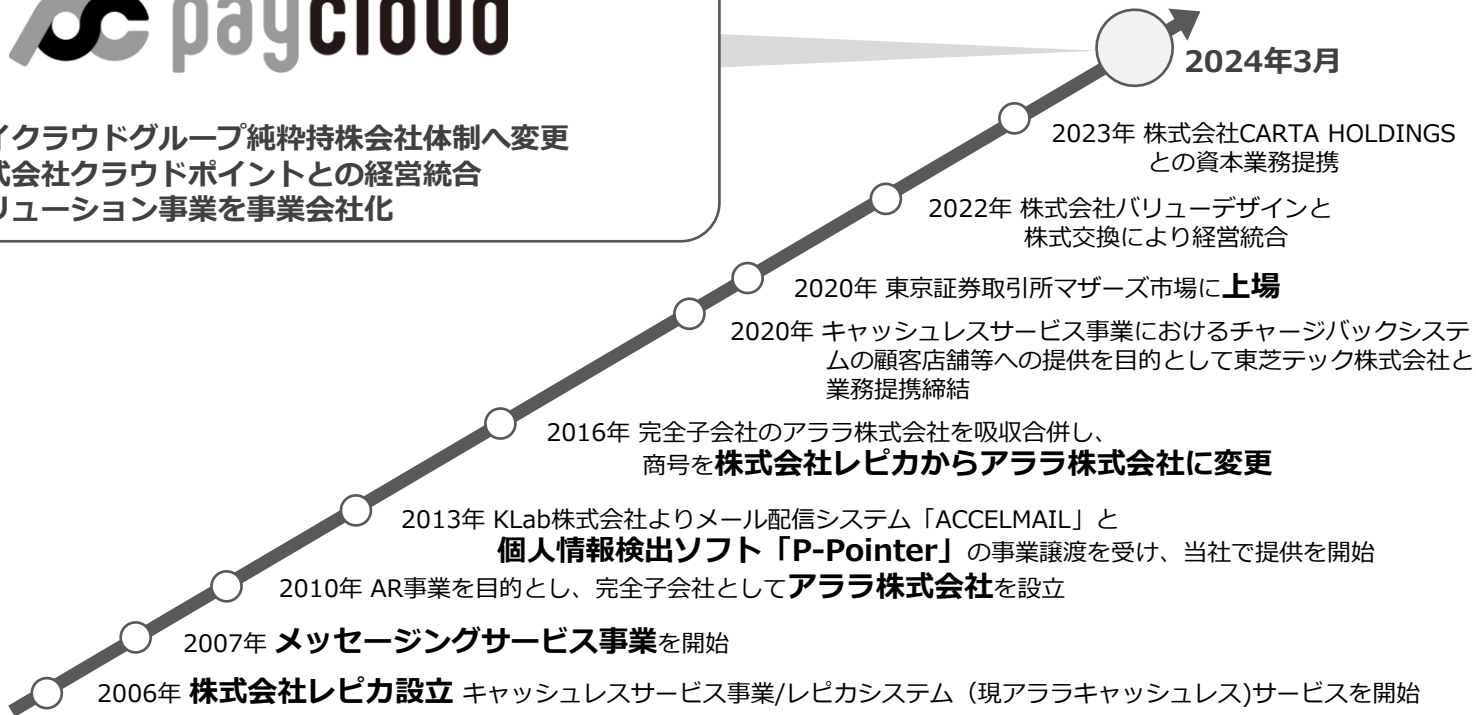
arara

社名	アララ株式会社
代表取締役社長	代表取締役社長 門倉 紀明
資本金	5百万円 (2023年10月末時点)
事業内容	メッセージングサービス等を含むソリューション事業

※株式会社バリューデザイン、株式会社クラウドポイント、アララ株式会社は、ペイクラウドホールディングス株式会社の100%子会社です。



- ・ペイクラウドグループ純粋持株会社体制へ変更
- ・株式会社クラウドポイントとの経営統合
- ・ソリューション事業を事業会社化



重要指標等の定義

カテゴリ	用語	定義
重要指標	決済取扱高	独自Payの決済額およびクレジットカード会社との包括契約を介した独自Payへの入金額の合計
	顧客社数・導入企業数	当社のサービスを活用している顧客の数
	調整後EBITDA	利払い前・税引前・減価償却前・その他償却前利益・株式報酬費用
	顧客	当社のサービスを活用する企業
	エンドユーザー	当社サービスを利用する最終消費者
	リカーリング売上	継続的なサービス提供等により、長期的に収益を得られる売上
	SaaS (Software as a Service)	クラウドサーバーにあるソフトウェアを、インターネットを經由して利用できるサービス
キャッシュレスサービス	独自Pay	キャッシュレスサービスを利用し、顧客が店舗の常連客向けに提供する特典や優遇サービス
	アララ キャッシュレス	独自Payの発行から販促、各種分析機能等をサポートする統合型キャッシュレス支援サービス
	チャージバック	メーカーの販促費を、エンドユーザーと顧客に独自Payで還元する販促サービス
	クルクル	QRコードを介して顧客の店舗が消費者へコンタクトできる情報配信サービス
	Value Card	キャンペーン提案からオペレーションまでサポートする独自ブランドのクラウド型電子マネー発行サービス
	Value Insight	POSの購買情報やアプリの利用動向等のデータを統合・分析するSaaS型のデジタルマーケティングツール
	Value Gift	メールやSNS等を通じてデジタル化された残高情報を送付できるデジタルコード発行サービス
	Value Wallet	独自Pay機能を搭載した店舗オリジナルアプリ
	Value Gateway	独自Payと同時に、各種QR等コード決済サービスの導入をサポートするサービス
	ディストリビューション機能	直接顧客には販売せず、販売チャネルへサービスを卸す機能
ソリューション	アララ メッセージ	到達率向上・自動化・効果測定により円滑なメールマーケティングを実現するメール配信システム
	P-Pointer	PCやファイルサーバ内に点在する個人情報ファイルを検出する個人情報検出ツール
デジタルサイネージ	CloudExa	専用の配信管理アプリケーションを介して、インターネット上に設けられたCloudExaサーバにアクセスし、映像素材のアップロードや放映スケジュールの編成、放映端末への遠隔配信・監視操作が行えるデジタルサイネージシステム
	LED WORLD	クラウドポイント社が販売を行うフルカラーLEDビジョンのオリジナルブランド

月次報告・メディアでの発信

ホームページ上で月次業績報告を開示。四半期ごとの決算説明をIRTVにて公開。
X（旧Twitter）にて公式チャンネルや副社長 井上による情報発信を行っております。

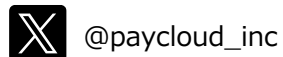
月次業績報告



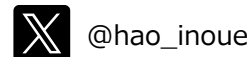
メディア・SNSでの発信



ペイクラウドHD【公式】



ペイクラウドHD副社長 井上



ディスクレーム

本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望にも言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在しております。

既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。

当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、当記述を作成した時点において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものです。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等に基づいております。